

授業科目名	【G】 地理歴史科指導法Ⅱ	区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2		
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための選択必修科目(中一種免社会)、必修科目(高一種免地歴)						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「地理歴史科教育の実践的知識と技能」							
サブタイトル	中等教育における地理・歴史教育の実践的指導法			担当者	小関 勇次			
授業概要	【概要】	<p>【実務経験を活かした授業】 高校地理歴史科教諭の経験を活かし、地理歴史科の指導内容と教授法を習得させ、教壇に立てるだけの力量を身につけさせる。</p> <p>【概要】 地理歴史科指導法Ⅱでは「実践力」をテーマとしている。従って、地理歴史科科の教員として教壇に立てる実践的な指導技術を身につける。具体的には、教授法の習得・教材作成・模擬授業を中心に学ぶ。特に模擬授業は全員実施して教育実習のリハーサルとする。</p>						
	【到達目標】	<p>1 地理歴史科教育に必要な教授法を習得する。 2 地理歴史科教育に有効な教材作成の技能を習得する。 3 学習指導案の立案と模擬研究授業を通して実践力を養う。</p>						
履修条件	中学校社会科・高等学校地理歴史科教諭を目指す強い意志を持っていること。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【○】	模擬授業	【－】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	○ (やや当てはまる)						
他科目との関連性	地理歴史科指導法Ⅰ・地理学概論を履修すること。							
教科書	高等学校学習指導要領解説(平成30年告示) 地理歴史編(文部科学省)							
参考書	高等学校で履修した地理・日本史・世界史の教科書を準備する。							
評価方法	レポート60%、模擬研究授業30%、授業への参加態度10%の合計評価する。							
フィードバック方法	授業(対面式)において指導・助言する。レポート・テスト問題の作成など提出物等については添削指導する。							
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に理解できたものについては「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。評価不能な場合、「F」とする。							

授業科目名	【G】	地理歴史科指導法Ⅱ	区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
授業回数	授業内容						
1	地理歴史歴史科教師の実務とは？ 予習： 地理歴史科指導法Ⅰ(理論)を復習し、地理歴史科指導法Ⅱ(実践)の学習内容について確認する。(90分) 復習： 地理歴史科教師の実務と教師のスキルについて整理する。(90分)						
2	教材研究の進め方～教材作成のアイデア～ 予習： 高等学校地理歴史科の授業を紹介するための準備をする。(90分) 復習： 地理的領域と歴史的領域の教材を作成する。(90分)						
3	地理歴史科授業の実際① 板書の仕方 予習： 授業内容の板書事項を整理しておく。(90分) 復習： 板書事項の反復練習。(90分)						
4	地理歴史科授業の実際② プレゼンテーションの仕方 予習： パワーポイントのダウンロードと基本的操作を練習しておく。(90分) 復習： プレゼンテーションの作成 (90分)						
5	地理歴史科授業の実際③ 地図の種類と活用について 予習： 地理選択者は統計地図・歴史選択者は歴史地図のプランニング。(90分) 復習： 主題図作成 地図学習の内容復習。(90分)						
6	地理歴史科授業の実際④ 統計資料と年表の活用 予習： 統計と年表の活用についてプランニング。(90分) 復習： 統計と年表を用いた教材の作成。(90分)						
7	地理歴史科授業の実際⑤ 図版・写真・レプリカの活用 予習： 図版・写真・レプリカの活用についてプランニング。(90分) 復習： 図版・写真・レプリカを用いた授業の事例作成。レポート1(90分)						
8	地理歴史科授業の実際⑥ 情報機器の扱い方とメディアリテラシー 予習： 情報機器やWeb検索の活用した授業を立案しておく。(90分) 復習： 情報機器やWeb検索の活用した授業の事例作成。(90分)						
9	テスト問題の作成と評価～指導と評価の一体化 予習： 50点の評価問題を作成する。テストコンテスト。 復習： テストコンテスト(テスト問題の相互評価)レポート2提出。						
10	アクティブラーニングの理論と実践(南北問題のメンタルトレーニング AL) 予習： 南北問題について調べておく。(90分) 復習： 南北問題についての教材作成。(90分)						
11	アクティブラーニングの理論と実践(Activityの学習効果 AL) 予習： 体験学習の実践事例を調べておく。(90分) 復習： ActivityとFieldworkの事例作成。(90分)						
12	ディベート授業の理論と実践(参加体験型ディベートの手法 AL) 予習： ディベート授業の事例を調べておく。(90分) 復習： ディベート授業の事例作成。(90分)						
13	模擬研究授業と相互評価①(地理分野グループの模擬授業 AL) 予習： 授業プランを作成し模擬授業の練習をしておく。(90分) 復習： 模擬授業の振り返り。(90分)						
14	模擬研究授業と相互評価②(日本史分野グループの模擬授業 AL) 予習： 授業プランを作成し模擬授業の練習をしておく。(90分) 復習： 模擬授業の振り返り。(90分)						
15	模擬研究授業と相互評価③(世界史分野グループの模擬授業 AL) 予習： 授業プランを作成し模擬授業の練習をしておく。(90分) 復習： 模擬授業の振り返り。(90分)						
その他	教師としての資質は普段の授業態度にあらわれる。例えば、遅刻や欠席の多い者や課題の提出のない者などは教師として不適格である。「自分は教師」と置き換えて履修する態度が望ましい。						